

文芸

短歌

米納三雄 選

晴れ渡る首夏しゅかの日を浴び揺れ動くメタセコイアの大ききど
り葉
祖その掘りし井戸いづの清水しみずの今も尚ほとばしり出づそを掬すくひ飲
む
同年代の集い親しき軽スポーツ競技の後の爽やかな汗
野草園の薄紫のはなしのぶ根子岳を背せに優雅ひらに咲く
埃積ほこむ黄ばみし古きアルバムに嬰兒抱みどりこく妻初々ついでし
明け初めし朝のしじまを流れつつ里山寺の鐘が鳴るなり
香り濃き栗の花穂はゆさゆさと空照すごと梢えだ明るむ
お祓はらいの神主様かみぬしと同年の傘寿さんじゆと知りて元氣頂く
真夜中にいつも目覚めて聞ゆるは何故か淋しいほととぎす
の聲
庭木々の緑つやめく青葉やみ闇根元の石も暗むが如し
さんさんと太陽あびてひまわりがわが背丈せたけより高くなりた
り
むらさきの小さき花のくずの花そつとふるればポロリと落
ちぬ

広崎 三浦夕子
安永 山下 累江
木山 増岡 伸禧
福馬たづ子
安永 福田 圭子
小森英美子
寺迫 新村 典子
上陳 永野ヤエ子
広崎 二木 澄子
廣崎 渡辺 光子

俳句

富永小谷 選

雉鳩きじぼとの声の湿りも梅雨ついで入まへ
螢火ほたるびやありふれし日を賜りて
大根の急かるるごとく薑しょうを立つ
一年生いちねんせいひとりで行きぬ茅花つばなみち径
父ちち偲しのぶ泰山たいざん木や咲かんとす
点となるまでの高みへ夏燕
田を植うる子らそこだけの明るさに
合あ歡むの花朝刊を手に振り仰ぎ
濁流ねづやカサブランカの虹を見き
もぐら威競おびせひてめぐる梅雨晴間

宮園 丸野 紀子
惣領 山本みな子
上陳 永田己智子
赤井 西たかもり
田原 佐藤 澄世
宮園 永田 自然
宮園 久保ます子
秋永 福岡ふさえ
上陳 松本 昭子
馬水 那須たづし

狂句

田上富岳 選

当てこすり 電化時代に忘れられ
当てこすり 嫁が姑ばいびらすと
当てこすり めでたき人に通じらん
当てこすり まつぼし言うてみらんかい
当てこすり すかして言わす人ん前
そうなる前に 見抜けなかつた目の甘さ
そうなる前に 早期受診が一番だ
そうなる前に うがい手洗いしましたか
そうなる前に 何か前触れ有つたらに
そうなる前に 美味しい物は程々に

広崎 一丸 寅三
広崎 宮崎 逸雄
木山 増岡 酔粋
宮園 岩本よろく
惣領 阪口 基明
下陳 山田 凡骨
小池 坂本 隆博
寺迫 新村 典子
田原 野口 鈍輝
惣領 小森英美子

狂句次号の課題「使い捨て」「夏休み」

投稿は役場広報係まで。毎月15日まで必着。
(数種に投稿される場合は、別にしてください。)



優勝した広安体協のみなさん

第23回町女子ソフトボール大会 広安体協が優勝

6月5日と6日の2日間、町女子ソフトボール大会が町民グラウンドで開催され、熱戦を繰り広げました。大会には町内各校区体協から5チームと、一般から1チームが出場、広安体協が昨年に続き優勝を飾りました。準優勝には津森体協、3位には飯野体協が入りました。

